

[ポスター発表] 研究報告

インターネットと運用技術シンポジウムポスター発表原稿の 準備方法 (2026年9月版)

運用 蒲夫^{1,a)} 能鳩 憂奈¹ 竹酔 細羽^{1,†1,b)}

概要: 近年という言葉で論文を始めたり、発表中に使ったりするとなんとなく気になる人がいるらしい。そういうことは置いておいて、査読ありポスター発表ではアブストラクトを記述していただくようお願いします。

How to Prepare Your Paper for IOTS Poster session (version 2026/9)

UNYO KABAO^{1,a)} NORBERT WIENER¹ TICS CYBERNE^{1,†1,b)}

1. はじめに

情報処理学会インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS) ではポスター発表セッションを設ける。査読のあるメインシンポジウム論文と明確に区別できるように、シンポジウム論文集に掲載する査読ありポスター発表の予稿は、本稿のように最大4ページとする。投稿にあたっては、このテンプレートを参考にして予稿を作成されたし。

予稿のフォーマットは研究会報告のそれをもとにしたものである。ただし、ポスター発表の予稿の本文に記載する内容は、メインシンポジウム論文と比較してページ数に制限があるため、明瞭簡潔にまとめられるべし。これら以外に大きな相違はないので、「研究報告原稿 (PDF ファイル) 作成について^{*1}」もあわせて参照されたし。

ポスター発表セッションの予稿に書くべき内容は、

- 和文題名
- 著者情報 (氏名・所属)
- 概要
- 英文題名
- 英文著者情報 (氏名)
- 本文 (二段組で記載された発表概要)

である。題目の左上には、ポスター発表セッションの予稿で

あることを示す「[ポスター発表] 研究報告」を入れ、シンポジウムの査読論文と容易に区別できるようにしていただきたい。このサンプル $\text{\LaTeX}$ ファイル (poster-jsample.tex)、クラスファイルおよびスタイルファイル (ipsj.cls と iotsposter.sty) を使えば、これらについて特に苦勞することはないはずである。なお、元々の概要を省いたことと、和文題目の左上にポスターセッションの予稿であることを示す表記を追加、などの変更ために ipsj.cls を修正した。「 $\text{\LaTeX}$ スタイルファイル、MS-Word テンプレートファイル^{*2}」からダウンロードしたスタイルファイルを間違えて使わないように注意されたし。MS-Word で予稿を準備する場合は、この PDF ファイル「poster-jsample.pdf」を参考にして、レイアウトを適宜変更されたし。

1-4 ページで記述できる本文の文字数は、和文・英文題目の長さや著者情報によって異なってくる。この例では、二段組、一行あたり 27 文字で、60 行少々記述できるので約 3200 文字以上となる (このサンプル $\text{\LaTeX}$ ファイル、PDF ファイルでは 65 行である)。発表する内容を最大 2 ページに収まるよう、コンパクトにまとめて欲しい。本文部分については、章立てして読者に伝わりやすく記述して欲しい。

予稿を準備する場合、寸分違わずにこのレイアウトに一致させる必要はない。この $\text{\LaTeX}$ テンプレートを利用することを推奨するが、必須ではないし元々の研究会報告のテンプレートでも $\text{\LaTeX}$ と MS-Word では微妙にレイアウトは異なっている。ただし、前述の書くべき内容 (題目・著者情報・二段組の発表概要) があまりにも不十分であった

¹ 情報処理学会

IPSJ, Chiyoda, Tokyo 101-0062, Japan

^{†1} 現在、逢坂インターネット運用技術大学院大学

Presently with Ousaka Institute of Internet and Operation Technology

^{a)} cover.unyo@ipsj.or.jp

^{b)} cybernetics@oiot.ac.jp

^{*1} <http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/genko.html>

^{*2} <http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/style.html>

場合には、不備として投稿を受理しないこともある。

投稿する PDF ファイルは、フォントを必ず埋め込み、セキュリティをかけずに作成する必要がある。詳細はこれまた前述の「研究報告原稿 (PDF ファイル) 作成について」に書かれているので、こちらを参照されたい。

ここまで書いたことは、IOTS のポスター発表セッション予稿の作成において注意してもらいたい話題であるが、それ以外は通常の研究会報告原稿の作成と大差はない。L^AT_EX で予稿を準備するときは、元々の `tech-jsample.pdf` と `tech-jsample.tex` に書かれている内容を一読しておくことを勧める。

2. おわりに

さて最大 4 ページを満たすには少々寸足らずになってしまった。工夫の方法は様々だが、ここは時節柄 (学生諸氏におかれては意味不明かもしれないが) 伝統的な手法で余白を埋めることとする。ぞうの卵はおいしいぞう。ぞうの卵はおいしいぞう。ぞうの卵はおいしいぞう。ぞうの卵はおいしいぞう。ぞうの卵はおいしいぞう。ぞうの卵はおいしいぞう。ぞうの卵はおいしいぞう。ぞうの卵はおいしいぞう。ぞうの卵はおいしいぞう。ぞうの卵はおいしいぞう。

参考文献

- [1] 文献 1
- [2] 文献 2
- [3] 文献 3